

あとがき

編集顧問

糸満盛憲
越智隆弘
荻野利彦
小野啓郎
竹光義治
守屋秀繁
富田勝郎
山室隆夫
矢部 裕

編集主幹

菊地 臣一
編集委員
金谷文則
黒坂昌弘
清水克時
高岸 憲二
土屋 弘行
戸山芳昭
内藤正俊
吉川 秀樹

編集同人

井形高明
生田義和
井樋栄二
岩田 久
岩本幸英
大井利夫
小野村敏信
加藤博之
金田清志
腰野富久
紺野慎一
榊田喜三郎
酒匂 崇
桜井 実

澤村 誠志
田辺剛造
田畑四郎
玉置哲也
中村耕三
馬場久敏
浜西千秋
廣谷速人
佛淵孝夫
三笠元彦
三浦隆行
持田讓治
山田治基
吉川靖三

皆さん、秋の夜長をどうお過ごしでしょうか？ 今年の猛暑は過ぎ去り、大変勉強には適した気候になりました。「臨床整形外科」11月号も読み応え十分で、新たな知識や情報の収集には持って来いです。医学は常に温故知新が重要であり、それを通して進歩していくと考えています。視座では、東京大学の田中崇教授が利益相反について書かれています。欧米の学会では、数年前から学会発表のはじめのスライドに必ず disclosure を求められています。今後は日本でも同様になっていくでしょう。

さて、陰暦10月の異名は神無月です。神無月の語源は、神を祭る月であることから「神の月」とする説が有力とされ、「無」は「水無月」と同じく「の」を意味する格助詞「な」だそうです。中世の俗説には、10月に全国の神々が出雲大社に集まり、諸国に神がいなくなることから「神無月」になったとする説があり、出雲国では反対に「神有月(かみありづき)」と呼ばれています。その他の説では、雷の鳴らない月で「雷無月(かみなしづき)」が転じたとする説や、新穀で酒を醸す月なので「醸成月(かみなしづき)」が転じたとする説があるそうです。11月は霜月ですが、「霜降り月・霜降月(しもふりつき)」の略とする説が有力だそうです。その他、十は満ちた数で一区切りなので上月になり、それに対して下月とする説や、神無月を「上な月」と考えて「下な月」とする説など、上下の下とみる説や、「食物月(をしものつき)」の略、「摺糲月(すりもみつき)」の意味からきている説などがあります。いろいろな説があり、全くもって医学と通じています。

整形外科の領域でも、病因や治療など諸説ある場合がかなりあるかと思います。それの一つひとつを解明して明らかにしていくのが整形外科医の役目でもあります。中でも、手術療法は整形外科治療において最も華やかな部分です。一見手術は感覚的な部分が多くあるような印象を持ちますが、手術は常に科学的根拠に基づいて行われなければいけないと思います。そこには、解剖学をはじめ、病理学、生理学、生化学、細菌学、放射線医学、麻酔学、生体力学、腫瘍学、スポーツ医学など、あるいは数学や物理学、機械工学、コンピューターなどの知識や技術を統合駆使して行っていく必要があります。「Scientific orthopedic surgeon」であることが要求されます。

臨床の現場で見出した課題を研究し、その成果を手術に還元、ひいては整形外科の進歩に繋いでいければ理想の形だと思います。本誌も手術療法の話題がどうしても多い傾向ですが、そのような観点から熟読するのはいかがでしょうか。

(土屋弘行)

臨床整形外科 (第47巻第11号)

2012年11月25日発行(毎月1回25日発行)

定価 2,625 円(本体 2,500 円+税 5%)

2012年 年間購読料(税込、送料弊社負担)

冊子版 29,400 円

冊子+電子版/個人 34,400 円

冊子+電子版/共有 38,900 円

電子版/個人 29,400 円

電子版/共有 33,900 円

E-mail rinseige@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinseige>

オンライン投稿 ID: rinseige パスワード: rinseige

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 編集室直通 (03)3817-5702(担当:石井・山崎)

販売部直通 (03)3817-5659・5660

ファクシミリ (03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 (株)アイワード 電話 (011)241-9341

広告申込所 (株)医薬広告社 電話 (03)3814-1971

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 2012, Printed in Japan.

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

・本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・**JCOPY** (株)出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。